

慈眼

第7号

発行所
小城市三日月町三ヶ島
妙勝寺内
TEL 0952-73-2981
FAX 0952-73-2981

日蓮宗佐賀
教化センター

発行責任者
林 孝 隆

印刷所 中野印刷所

「社会教化のすすめ」

佐賀県社教会々長

塩田町学成院住職

小寺大誠



皆様には「社教会」と申しましてあまり聞き慣れた会では無いと思いますが、正式には「佐賀県社会教化事業協会」と申します。

県内各寺院僧侶が会員となり、会への深いご理解とご協力を賜り「佐賀県社教会」も順調な歩みが続けております。偏へに各会員のご尽力のお陰と厚くお礼申し上げます。

本誌「慈眼」掲載の依頼を受けましたので、誠に浅学非才の私ですが社教会会長の立場から私なりの所見を述べさせて頂きます。

今日の日本の現状は、宗教界のみならず

あらゆる面において「暗黒」の時機と
思います。終戦後、資本主義の名のもと
に利益追求に明け暮れした経済界は「バ
ブル崩壊」という大きなパンチを喰って
今もって低迷、立ち上がれませんが、教
育会では、青少年の非行・暴走もさる事
ながら全国八万有余といわれる不登校児
(登校拒否)の問題、更にはいじめ・自殺
等々枚挙にいとまがありません。

また政界を中心に各方面でのスキャン
ダルは日常茶飯事と化しています。

改めて申し上げる迄もなく、吾が宗門
は五年後の平成十四年には宗祖日蓮大聖
人立教開宗七五〇年を迎えますが、今改
めて私達は「宗祖」に返り、その「立正
精神」をもって「国土安穩」を目指す好
時機と考えます。

思いますに教・機・時・国・序の「五
綱教判」全てが今、当てはめられると思
います。

七五〇年前、宗祖は一般大衆に目を向
けて一人敢然と立ち上がられました。ま
さに「社会教化」であったと私は認識し
ます。

正直に申して「社教会」の宗門内に於
ける位置付けは未だ低いと思われま

布教師会・修法師会・声明師会等はそれ
ぞれに華やかな活躍があります。

「社教会」への参画は「宗規」に掲げら
れていながら全国的にみましても、各管
区の全教師が全員社教会員というところ
は僅かです。九州教区を例にみましても
佐賀県と熊本県だけです。それだけに私
は佐賀県の教師の皆さんを心から誇りに
思っています。

今こそ宗門挙げて全教師が社教会員と
なり、この七五〇という好機をとらえ社
会浄化・社会教化に一九となつて宗祖の
誓願である「仏国土顕現」に邁進しよ
うではありませんか。

私達日蓮宗僧侶は、毎日・毎朝「我此
土安穩・天人常充滿……」とお自我偈を
誦み、お題目を唱えています。今一度初
心に返り、宗祖に返り、法華経の精神に
返りたいものです。

何か偉そうにいろいろと申しましたが
どうぞ皆様、私の意のあるところをお汲
みとり頂き「社教会」へのます、の
ご支援、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上
げます。

そして「立教開宗七五〇年」の諸事業
諸行事の円成を心より祈って止みませ



立教開宗七百五十年
慶讃シンボルマーク

立教開宗750年慶讃「日蓮宗中央大会」讃法団参 団員募集

◇期 間 平成9年5月28日～30日
◇団 費 89,500円
◇募集人員 180名
◇申込締切 平成9年4月25日(金)
県内各寺院にお申し込み下さい。

◇日 程
5月28日 中央大会(於 横浜アリーナ) 参加
28日 総本山 身延山 久遠寺参拝
30日 鎌倉本山めぐり(龍口寺・妙本寺)

【特集】

《お釈迦さま》その二

お釈迦さまは、約二千五百年前にインドにて数多くの教えを説かれました。私達が信奉する法華経をはじめその教えは仏教として今なお世界中の多くの人々を救い続けています。今号でも引き続き、そのご生涯をたどりま

《誕生》

釈迦族の王子として誕生されたものの生後七日目にして母マヤー夫人を失い、又大国に圧迫される小国の王子として、お釈迦さまは幼い頃より世の中の無常を深く感じていました。そしてその無常を解き明かす真理を求め出家、修行の旅に出られ様々な修行を積んだ後、ガヤ郊外の菩提樹のもとでついに世の中の真理を悟られ「仏陀」となられたのです。

《初転法輪》

真理を悟ったお釈迦さまは、世の人々がその教えによる救済を求めている事を自覚され、教化に生涯を捧げる決意をし禅定の座から立ち上がられました。

はじめに、六年間共に苦行を積んだ五人の修行者（五比丘）に示す為にサールナートの鹿野苑に趣き、快樂主義でも苦行主義でもない「中道」こそが真理への道であり、その為の方法である《四諦・八正道》を説かれたのでした。

四諦・四聖諦とは

一、苦諦：四苦八苦と云われるように、この世の中の様相は「苦」であることと見極める事。

二、集諦：「苦」を引き起こすのは、欲望と執着であると見極める事。

三、滅諦：苦を引き起こす欲望と執着を捨て去り滅する事。つまり煩惱の束縛を脱した最高の境地である。



四、道諦：滅諦に至る為には八つの正しい行い（八正道）を実践しなければいけない。

そこでこの八正道とは、
正見…あるがままの姿を見極める正しい見解を持つ事。

正思惟…何の固定観念も混じえず、正しく思惟・分別する事。

正語…虚言や曖昧な表現ではなく、真実を表わす言葉を使う事。

正業…世間的な戒律を守るのとは勿論、その枠をも超えた正しい行いをする事。

正命…悪い結果を生む無意味な原因を生じさせない様に、正しい生活を送る事。

正精進…我執や快樂を目的とした努力ではなく、あるがままを見据えた正しい努力をする事。

正念…偏りなく、何事にも真剣に対処する正しい集中力を持つ事。

正定…ことさらに坐す禅定ではなく、日常を素直に感謝し真剣に受け入れる正しい心眼を持つ事。

以上の中道を歩む為の修行方法である《四諦・八正道》が、お釈迦さま最初のご説法であったので「初転法輪」と云われています。そしてそれを聞いた五比丘も次々と悟りを得る事が出来ました。これは、お釈迦さまの説く教えがお釈迦さまのみのものでなく、誰にでも得られる教えである事の証明であり、他宗教には教祖のみ別格と云う事がある、法華経にある「皆成仏道」の教えは、これを受け継ぐものであります。

花と葬儀 平安閣冠婚葬祭互助会

木下株式会社



佐賀市兵庫町 (0952) 74-5611 (代) (北部バイパス佐賀駅前)

創業102年

辻の堂の仏だんや

(株) 本庄仏具総本店

佐賀市堀川町 (辻の堂) ☎0952-23-2955 (代)

《布教》

初転法輪に次いでお釈迦さまは、マガダ国、コーサラ国などを中心として布教伝道の旅に出られました。そしてその間には有名な「竹林精舎」や「祇園精舎」といった今でいうところの、お寺で教えを説かれたのです。また、お釈迦さまに帰依した者の中にはサーリプッタ（舍利弗）、モッガラナーナ（目健連）の二大弟子や、後にお釈迦さまの後継者となったマハーカッサパ（大迦葉）などがおられます。また、釈迦国では父シュッドダーナ（浄飯王）育ての親マハーパジャッパテイ（摩訶波闍波提）妻ヤシヨダラー（耶輸陀羅）息子ラーフラ（羅候羅）などもお釈迦さまに従って出家しました。

《デーバダッタの悪心》

こうして日ごとにお弟子が増えていったのですが、沢山の人がお釈迦さまをおしたいしているのを、従兄弟でもあるデーバダッタ（提婆達多）がねたみ、ある日自分が教団の主になって権力を持ちたいと考えはじめたのです。デーバダッタはマガダ国の王子アジャータシャトル（阿闍世）を利用しお釈迦様の殺害を計画します。そして後ろから斬りつけようとして、狂った象で押しつぶそうとしたのです。しかしお釈迦さまは寸前のところで自ら

の不思議な力により難を逃れることができませんでした。遂に最後にはデーバダッタが自らの爪に毒を塗りお釈迦さまを殺そうとしたのですが、襲う寸前に毒が自分の全身に回り悶え苦しみながら死んでいったのでした。



アジャータシャトルに悪たくみを耳打ちするデーバダッタ。

《法華教の開教》

四十余年にわたる布教の後、お釈迦さまはある日（さとり）の全貌を現す重大な決意をなされます。

ラージキール（王舎城）の北東に鷲の形をした霊鷲山と呼ばれている山があります。お釈迦さまはそこで、自らの説かれた説法の仕上げと統一、仏法の完成をめざして「サツダルマプンダリーカストラ」（正しい教えの白蓮華）という遺言、遺命ともいえる説法を始められたのです。白蓮華の聖なる花にたとえられる最高の妙なる教えを説かれた経典です。この説法はお釈迦さま入滅の年まで八年間続い

たそうです。鳩摩羅什により訳されたこの経典は「妙法蓮華経」と名付けられ、一般的には「法華経」と呼ばれております。そしてこの「法華経」はお釈迦さまの説かれた一切のお経の頂点、最高位に位置し諸経の王とされています。

我が所説の諸経、而も此の中に於て、法華最も第一なり。

（法師品）

此の経も亦復是の如し。一切の諸の経法の中に於て最も為れ第一なり。仏は為れ諸法の王なるが如く、此の経も亦復是の如し、諸経の中の王なり。

（葉王品）

このように一切の仏様が法華経の最も勝れていることを証明し、讃歎しておられるのです。

私達「日蓮宗」はこの最高の教え、「法華経」を信仰の依りどころとしております。

《インド仏蹟参拝団 参加者募集》

日蓮宗佐賀県青年会結成四十周年記念として本年、インド仏蹟の参拝を行います。つきましては皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。また、ガンジス河での法要では「追善散華」にて、先祖様の回向を致します。こちらはインド参拝をされない方も申し込みが出来ますので何卒ご希望下さいませ様ご案内致します。

（十二日間）

日程 平成九年十一月十六日から平成九年十一月二十七日迄

回費 三六五、〇〇〇円 追善散華（二霊位）一、〇〇〇円

申込締め切り 平成九年八月末日

インド参拝・追善散華申し込みは、各菩提寺へお願いします。

創業明治22年

旅館

あけぼの



手を合わせるころを大切に・・・

山本仏具

佐賀市呉服元町 10-12 23-4308
〒840 ☎ (0952)

佐賀市中ノ小路3-10 ☎ (0952) 24-8181

- ・寺院用具一式
- ・前卓
- ・鈴金物
- ・宮殿
- ・登高座
- ・修復
- ・須弥壇
- ・富経
- ・仏壇
- ・人天蓋
- ・美術彫刻品
- ・仏瑠璃
- ・鐘
- ・宗教絵画
- ・神職用具
- ・瑛箔
- ・塗物
- ・其
- ・佛像彫刻

寺院紹介 (七)

《吉谷山 本覚寺》

よしたにざん ほんかくじ
多久市東多久町



吉永正法住職

本覚寺は小城より多久に入ってすぐ、古賀山の地に国道二〇三号線から近い所に位置しています。

【歴史】

応永二十三（一四一六）年八月開基となっています。当時皆木村と云っていた所の豪族、吉谷周防の守と云う人が熱心な日蓮宗の信者で、四間四面のお堂を建て三日月の深川勝妙寺にお願いして日延上人を申し受け初めて吉谷山本覚寺となりました。この時応永二十四（一四一七）年十一月十一日でした。

明治二十五年（一八九二）年四月二十八日、当山中興の日清上人（現住職の曾祖父）の代の時、四百八十六年の間に荒廃してしまっていたのを皆木より現在の

地へ移転新築開堂され、入仏の供養が盛大に行われました。

因みに皆木本覚寺の旧蹟には、現在でも観世音菩薩のお堂、題目塔、七面大明神の祠、経塚、歴代の住職の墓その他多数の石造物が祭っております。

【寺宝】



巾六尺長さ九尺の大幅な釈尊涅槃の図があります。

元禄五壬申天十一月松尾山廿四世日良上人によって開眼常坐された日蓮聖人像があり三百年以上を経過しています。鬼子母神像も古くから祀られています。市内では有名です。

【本堂】

立教開宗七五〇年（平成十四年）の聖年を記念し、日蓮聖人銅像護持教会前主 管故中村日讀上人が本覚寺第二十九世師父吉永日徳上人報恩の為、当山本堂新築の浄業を発願せられました。そして上人の功に謝し当山第三十一世に加歴し永くその徳を讃えられ、平成八年六月に落成されました。

【稲荷堂】

先々代日徳上人が昭和二年備中国高松稲荷山より勧請されたものです。昭和十五年四月に改築。



本覚寺全景



拜む心で尊い品を 仏壇・仏具・寺院用具・寺院納骨堂設計施工

梅谷佛具店

TEL092-271-0456

FAX 092-271-0464

フリーダイヤル 0120-39-0456

〒812 福岡市博多区下川端町10-9
(地下鉄中洲川端駅下車)

通産大臣認可 7産第2930号
株式会社 冠婚葬祭こころの会

三日月町大字久米2084-1 ☎72-3177・FAX72-3633

こころの会指定店

総合葬祭

有限会社

黄城

小城町270 ☎73-3938・FAX72-3633